

事業番号	09 04 06	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	■点検
事業名	畜産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課	
		実施期間	S61 ～	E-mail	enchiku @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

・本県の畜産は、従事者の高齢化が進み、農家戸数・総飼養頭羽数ともに減少傾向となっている。また、1戸あたりの飼養頭羽数は増加しているが、飼料の自給率向上等が課題となっている。

・畜産経営は、経済情勢や消費者の生活防衛意識等の影響により生産物価格が不安定になっているほか、輸入飼料価格が高止まりするなど、外的要因により経営に大きな影響を及ぼしている。

2 事業目的

経営規模や県産飼料生産の拡大、省力化技術の導入を推進するとともに、飼養衛生管理基準の遵守を徹底することで、畜産経営の生産性を向上し、県産畜産物等の安定供給を図る。

3 事業目的を達成するための取組

① 畜産の生産性と収益力の向上

- ・耕畜連携による飼料増産や高品質な堆肥生産を支援
- ・生産性を向上させるスマート農業技術の普及
- ・畜産経営の効率化、収益性向上のための施設整備を支援
- ・飼料価格高騰の影響を受ける畜産農家の事業継続を支援するため、飼料購入費の一部を助成
- ・飼料原料として有用な食品製造副産物の保存方法や流通体制等の実証調査を行い、畜産農家における利用を拡大



耕種農家と連携した飼料生産

② 個性ある高品質な畜産物のブランド力の向上

- ・信州プレミアム牛肉など高品質な牛づくりの推進
- ・県オリジナル地鶏ヒナの安定供給
- ・老朽化している食肉処理施設の整備支援



安全安心な農場を認定

③ 消費者に信頼される安全・安心な生産体制の確立

- ・農場における衛生管理状況の確認及び食中毒原因菌の衛生検査を実施

4 成果指標

(推移の凡例 ㇏:改善 ㇎:悪化 ➡:変化なし ー:数値なし)

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	推移	実績	推移	実績	推移			
①	乳用牛の1戸あたり平均飼養頭数	頭	58.6	➡	58.6	➡	62.6	㇏	59.0	達成	第4期長野県食と農業農村振興計画における達成指標（令和3年度：52頭→令和9年度：60頭）に基づき、3年目である令和7年度は59頭を目標値とする。
②③	信州プレミアム牛肉の認定率	%	69.8	㇏	72.2	㇏	78.3	㇏	70.8	達成	直近の認定率増加量（0.5ポイント）を維持することを目標とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	☆農業農村総生産額	億円	2023 (R5)	3,911	2024 (R6)	4,278	2025 (R7)	4,684 (県推計値)	2027 (R9)	3,700

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	956,485	124,569	481,099	1,562,153	218,470	960,128	13.67
R6年度	936,974	185,397	521,478	1,643,849	272,199	472,780	13.67
R5年度	134,190	224,383	1,884,571	2,243,144	36,127	1,199,484	13.67

事業番号	09 04 06	事業改善シート（令和 7 年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	畜産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課	

7 主な取組実績と成果

① 畜産の生産性と収益力の向上

- ・施設整備への支援（2か所）により、畜産経営の効率化、収益性の向上の推進が図られた。
- ・牛群ドック（血液生化学検査、飼料給与診断等）を通じた指導の実施（46戸）により、生乳の生産性向上が図られた。
- ・国庫事業の活用による高性能機械の導入推進（20件）により、自給飼料の生産拡大や収穫等の作業性の向上が図られた。
- ・畜産農家のほか J A 等の畜産関係者を対象とした研修会の開催により、飼養・衛生管理技術の向上が図られた。
- ・配合飼料の購入費等に対する一部助成（支援農家数478戸、補てん額143,380千円）により、飼料価格の高騰による畜産経営への影響緩和及び経営の継続が図られた。

② 個性ある高品質な畜産物のブランド力の向上

- ・生産性の優れた乳用牛や良質な枝肉などを競う共進会の開催(県主催 1 回ほか開催支援11回)により、信州プレミアム牛肉などの県産畜産物のブランド力や飼養管理技術等の向上が図られた。
- ・「信州黄金シャモ」等の素ビナの供給（26,575羽）により、長野県オリジナル地鶏の安定生産を通じたブランド力の向上が図られた。
- ・食肉施設（1か所）に必要な排水処理施設の整備が完了した。

③ 消費者に信頼される安全・安心な生産体制の確立

- ・信州あんしん農産物(牛肉)生産認定農場の衛生検査及び飼養管理方法等の現地検査の実施（144件）により、安全・安心な生産体制の維持が図られた。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	乳用牛の1戸あたり平均飼養頭数	R6年度推移	→	R7年度推移	↗	達成状況	達成
高齢化や後継者不足により中小規模の酪農家の離農があったが、それを吸収する形で規模拡大が進み、1戸当たりの平均飼養頭数は昨年度より増加した。生産コストの上昇を価格転嫁する形で乳価の上昇が後押しをしている。							
指標 ②③	信州プレミアム牛肉の認定率	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
推定育種価やゲノミック評価を活用した脂肪交雑やオレイン酸含有率等の遺伝的な改良、信州プレミアム牛肉オール信州共進会in京都の開催等を通じた飼養管理技術の向上等の取組により認定率が向上している。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・令和 7 年度の取組実績等は概ね目標を達成することができたものの、畜産業界全体としては飼料価格の高止まり等により利益確保が難しい状況にあることから、引き続き生産性の向上や省力化に向けた取組を推進するとともに、国産飼料の確保等の持続的な畜産経営に向けた取組を強化していく必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ・飼料作物生産機械の貸出制度により耕種農家等による飼料生産を後押しし、国産飼料の生産・利用拡大を図る。また、耕種農家と畜産農家のマッチングにより耕畜連携を推進するとともに、公共牧場の機能強化等の取組を実施し、国産飼料の確保を図る。

事業名	畜産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	--------	----	-----	-----	-------

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	農業制度資金利子補給等事業		541 千円	475 千円	406 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	畜産特別資金利子補給事業	補助金	畜産特別資金等借入農家の負担軽減のための利子補給及び経営改善指導を実施 利子補給対象件数 10件		

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	地域畜産対策事業		27,376 千円	164,510 千円	574,740 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	飼料増産と堆肥活用の促進	直接 委託	・耕畜連携による飼料増産や畜産農家の単収・品質向上を図るほか、公共牧場の機能強化と活用を促進 ・高品質な堆肥生産に向けて、安定生産の仕組みづくりを支援 耕畜連携、草地更新等の実証 6か所		
2	畜産振興施設の整備	直接 補助金	畜産経営の効率化、収益性向上のための施設整備を支援 整備箇所数 2か所		
3	未利用飼料資源の利用促進支援	委託	未利用飼料資源として食品製造副産物の保存方法や流通体制等の実証調査を行い、畜産農家での利用を拡大 食品製造事業者と飼料製造事業者・畜産農家とのマッチング 3件		

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	畜産物流通安定対策事業		2,633 千円	2,481 千円	2,118 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	肉用子牛価格差補てん金の造成	補助金	肉用子牛の価格下落時に交付する価格差補てん金（肉用子牛生産者補給金）の財源となる積立金の造成を補助 県の積立金による造成額 1,534千円		

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
4	食肉流通対策事業		415 千円	35,398 千円	204,193 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	食肉流通施設整備推進事業	直接 補助金	・本県の食肉流通が円滑に進むよう、食肉施設の運営主体が行う施設整備や経営改善等の計画作成を支援 ・排水処理施設の整備が必要な食肉施設を支援（中野食肉施設整備支援事業における施設整備） 畜産振興検討会議 2回開催、施設整備支援 1件		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
5	乳用牛対策事業		5,289 千円	5,464 千円	6,787 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	牛群検定データの分析及び情報提供	直接	乳量・乳質の向上を図るため、牛群検定情報の分析加工と情報提供を実施 牛群検定頭数2,900頭		
2	バルク乳全戸検査及び牛群ドックの実施	直接	・搾乳衛生の改善等を図るため、バルク乳を用いて細菌検査及び牛ウイルス性下痢症検査を実施 ・牛群ドックとして血液生化学検査や飼料給与診断を実施 牛群ドック実施農家数46件		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
6	家畜振興対策事業		22,029 千円	23,210 千円	28,504 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	種畜検査の実施及び家畜人工授精師の養成	直接	・家畜改良増殖法に基づき、優良な雄の家畜を確保するための検査を実施 ・次代を担う技術者を養成するため、講習会を開催 家畜人工授精師養成講習会 2回		
2	農場の衛生検査	直接	県産牛肉の生産及び消費拡大のため、農場における衛生管理状況の確認及び食中毒原因菌の衛生検査を実施 信州あんしん農産物〔肉牛〕生産認定農場検査件数144件		
3	県オリジナル地鶏の生産体制の整備	直接	こだわりある地鶏の生産振興に向けて、畜産試験場で開発した「信州黄金シャモ」及び「長交鶏3号」の素ヒナを供給 県オリジナル地鶏の素ヒナ供給 26,575羽		
4	肉用牛の改良及び信州プレミアム牛肉の生産体制の強化	直接	信州プレミアム牛肉の認定頭数を確保するため、遺伝的に高い能力が期待される受精卵の配布等を通じて、認定要件の一つであり、脂肪の質に影響を及ぼすオレイン酸含有率に着目した改良を推進 畜産試験場における牛受精卵の生産 116個		
5	信州こだわり豚肉の生産体制の整備	直接	信州こだわり豚肉の生産振興に向けて、優秀な種豚の作出を行うとともに、こだわり豚肉生産に必要な精液配布を実施 信州こだわり豚肉生産用の精液配布 1,800本		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
7	配合飼料価格高騰緊急対策事業		891,674 千円	241,242 千円	143,380 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	飼料購入費等の一部支援（配合飼料）	補助金	飼料価格高騰の影響を受ける畜産農家の事業継続を支援するため、飼料購入費等の一部を助成 支援農家数478戸 補てん額143,380千円		